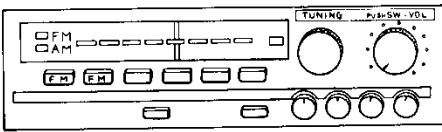


ラジオ、 ステレオの使い方

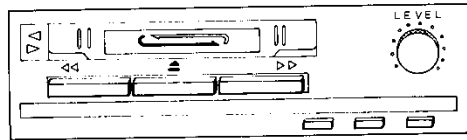


アンテナ.....62
ラジオ、ステレオ.....62

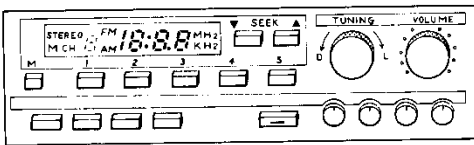
- AM/FMマルチ・ラジオ(4スピーカー)
〈標準装備〉.....62



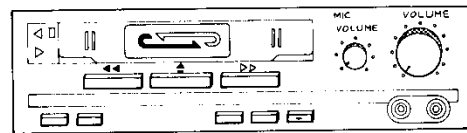
- カセット・ステレオ(録音機構なし)
〈1G-EUに標準装備〉.....74



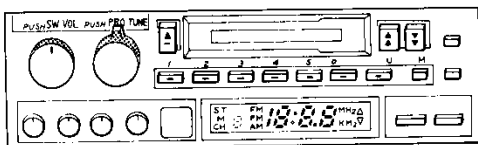
- AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ
〈注文装備〉.....64



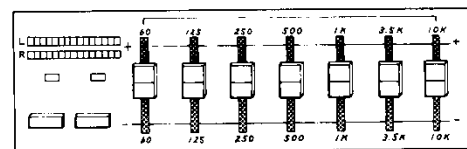
- カセット・ステレオ(録音機構付き)〈ツインカム24ターボに標準装備、1G-EUに注文装備〉.....76



- カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ
(番組予約機構付き)〈注文装備〉.....67



- グラフィック・イコライザー
〈注文装備〉.....80



アンテナ/ラジオ、ステレオ/AM/FMマルチ・ラジオ(4スピーカー)

ラジオ、ステレオの使い方

アンテナ	62
ラジオ、ステレオ	62
AM/FMマルチ・ラジオ(4スピーカー)〈標準装備〉	62
AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ〈注文装備〉	64
カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)〈注文装備〉	67
カセット・ステレオ(録音機構なし)〈1G-EUに標準装備〉	74
カセット・ステレオ(録音機構付き)〈ツインカム24、ターボに標準装備、1G-EUに注文装備〉	76
グラフィック・イコライザー〈注文装備〉	80

アンテナ

アンテナは、リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込まれています。



ちょっと一言

アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は、ぬらした布で熱線にそって軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

ラジオ、ステレオ



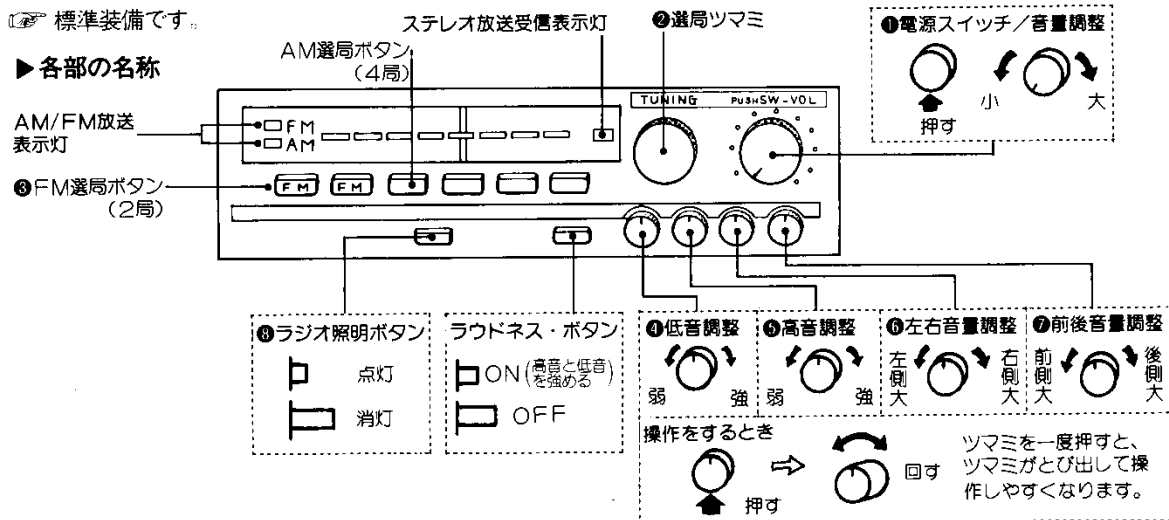
ちょっと一言

1. エンジン停止時はラジオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2. 安全運転をさまたげないように、適度な音量でお聞かせください。

AM/FMマルチ・ラジオ(4スピーカー)

標準装備です。

各部の名称

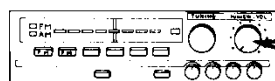


ラジオ放送を聞くには

- 1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

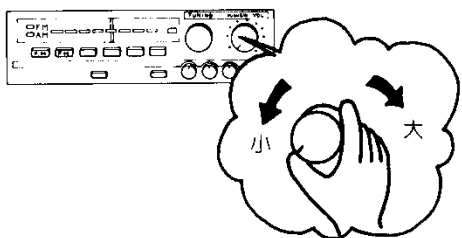


- 2 電源スイッチ①を押して電源を入れます。もう一度押すと電源は切れます。

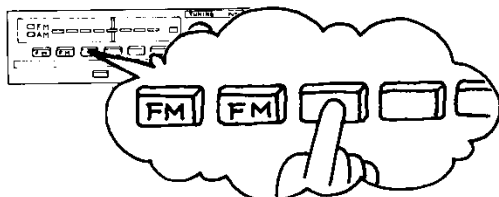


AM/FMマルチ・ラジオ(4スピーカー)

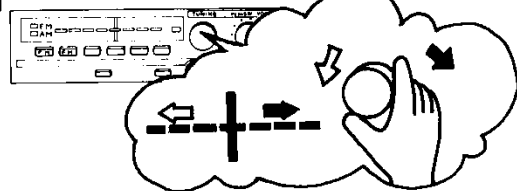
③ 音量調整つまみ①を回して音量を調整します。



④ AMまたはFM選局ボタン③を押してAMまたはFM放送に切り替えます。

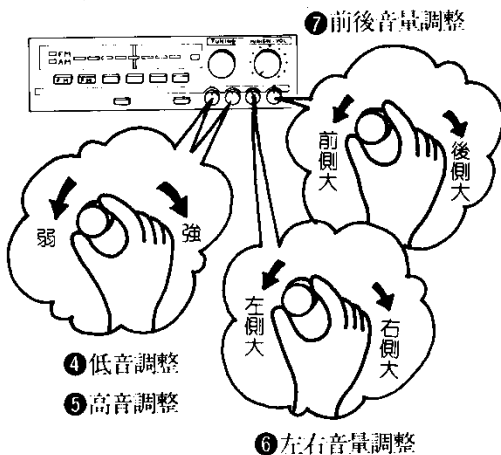


⑤ 選局つまみ②を回して希望の局を選びます。



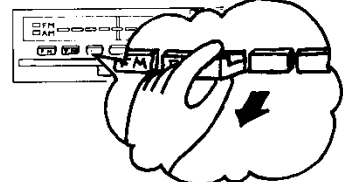
選局ボタン③をあらかじめセットしておけば、ボタンを押すだけで希望の局がワンタッチで選局できます。次の「選局ボタンのセット」を参照してください。

⑥ 次の調整つまみについては、好みに応じて調整してください。

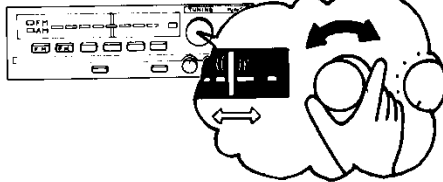


選局ボタンのセット

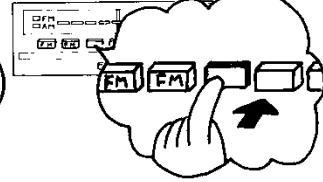
① 選局ボタンの1つを、いっぱい引き出します。



② 選局つまみで、選局指針を希望の局にあわせます。



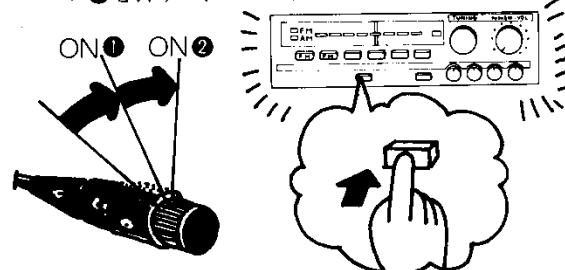
③ 引き出した選局ボタンをいっばいに押し込みます。



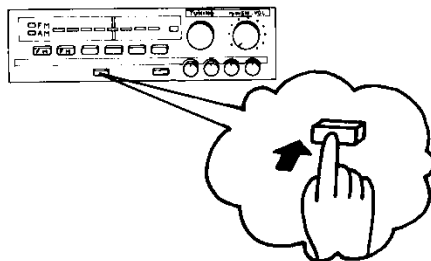
以上の操作により、選局指針がどの位置にあっても、選局ボタンを押せば、あらかじめセットした局を受信します。他の選局ボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

ラジオ照明

① ライト・スイッチがONのときラジオ照明ボタン⑧を押すと、ラジオ照明が点灯します。



② もう一度押すと消灯します。

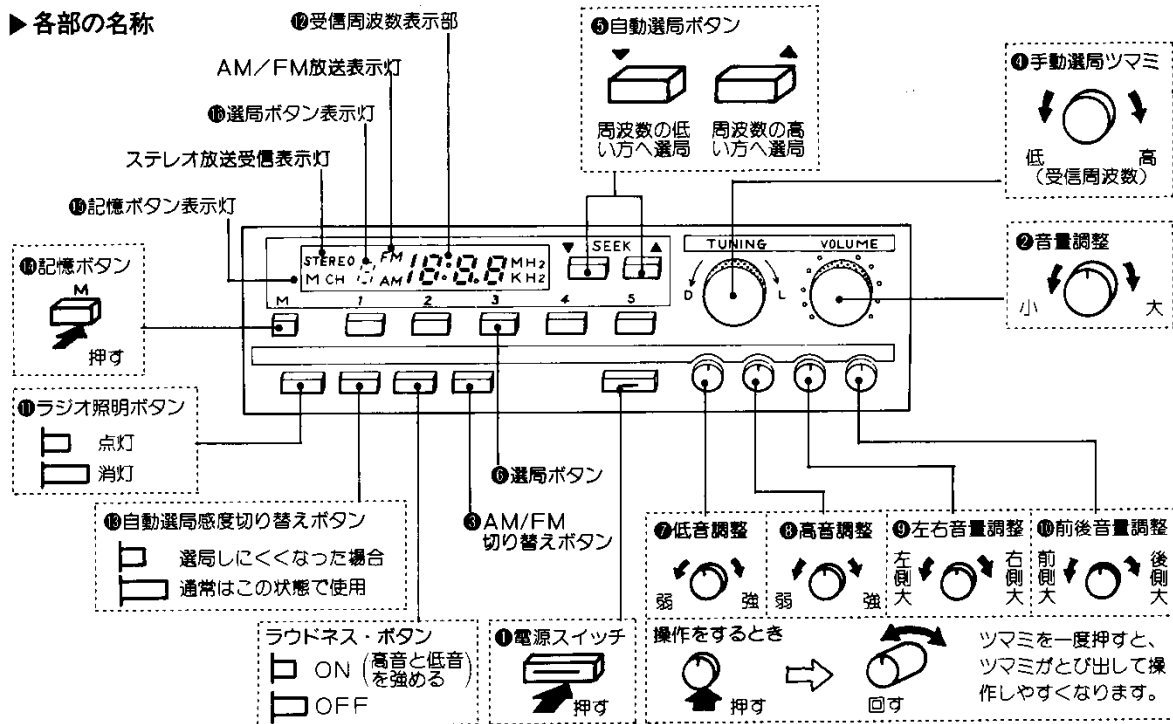


ラジオ、ステレオの使い方

AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ

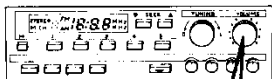
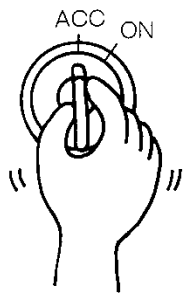
注 文 装 備 付 属

各部の名称

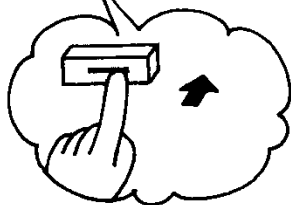
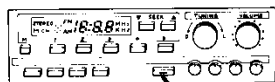


ラジオ放送を聞くには

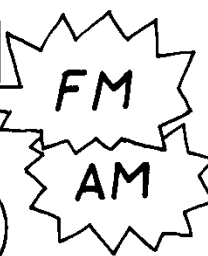
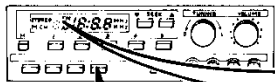
- 1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。
- 2 電源スイッチ①を押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。
- 3 音量調整ツマミ②を回して音量を調整します。
- 4 AM/FM切り替えボタン③を押してAMまたはFM放送に切り替えます。



- 2 電源スイッチ①を押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。

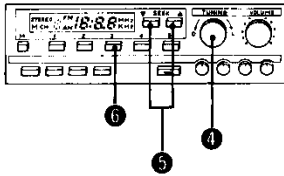


- 4 AM/FM切り替えボタン③を押してAMまたはFM放送に切り替えます。

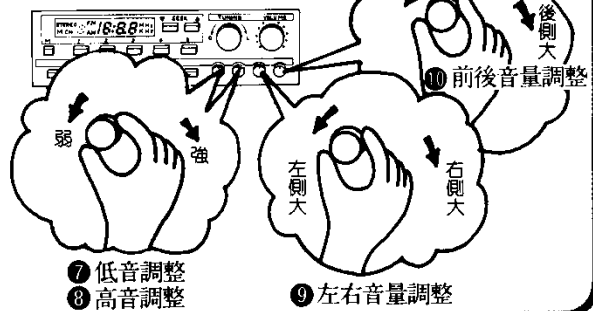


ラジオ、ステレオの使い方

- 5** 手動選局つまみ④、自動選局ボタン⑤(「自動選局のしかた」を参照してください)、選局ボタン⑥(「選局ボタンのセット」を参照してください)の操作で希望の局を選びます。

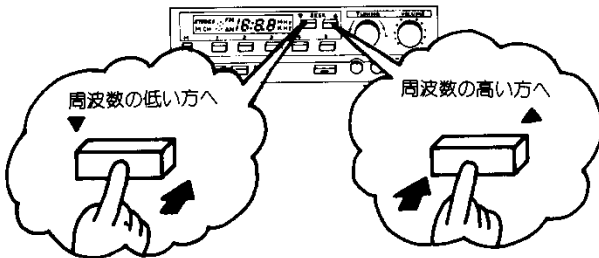


- 6** 次の調整つまみについては好みに応じて調整してください。

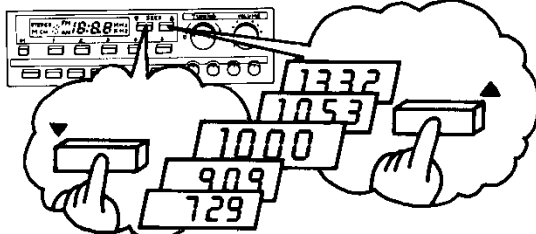


自動選局のしかた

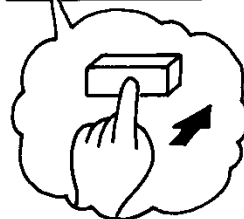
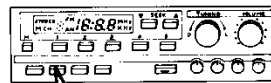
- 1** 周波数の高い方へ選局するときは、自動選局ボタン(SEEK)⑤の▲を、周波数の低い方へ選局するときは自動選局ボタンの▼を押します。



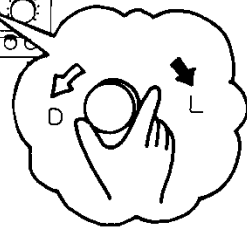
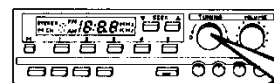
▲側を押すと周波数が高くなり、▼側を押すと周波数が低くなっていきますが、そのときどきの周波数は受信周波数表示部⑩に表示され、受信するとその周波数で止まります。



- 2** 電波が弱い局を自動選局する場合は、自動選局感度切り替えボタン⑧を押してください。



- 3** 受信感度切り替えボタンを押しても選局しないときは、手動選局つまみ④で選局してください。

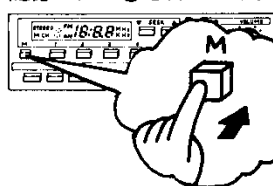


選局ボタンのセット

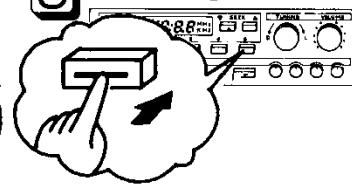
- 1** 手動選局つまみ④または自動選局ボタン⑤で記憶させたい放送局の周波数にあわせませます。



- 2** 記憶ボタン①を押します。



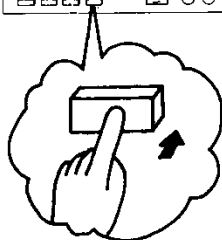
- 3** 選局ボタン⑥を押します。



以上の操作で選局ボタンに放送局を記憶させることができます。なお、選局ボタン1つに記憶させることができる放送局はAM、FM、各1局ずつです。

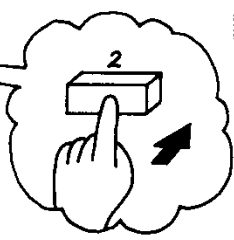
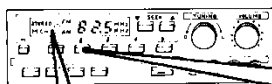
たとえば、選局ボタン2に、NHK-FM(東京)82.5MHzを記憶させる場合

- ① AM/FM切り替えボタン③でFMにします。

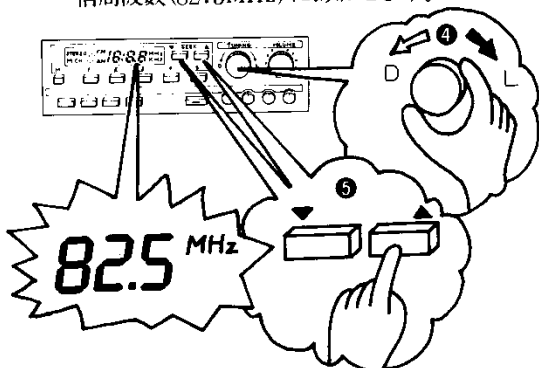


- ④ 選局ボタンの2を押します。

同時に選局ボタン表示灯⑬がチャンネルCh2を表示します。



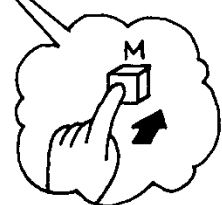
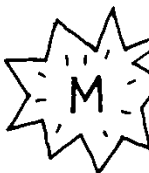
- ② 手動選局つまみ④または自動選局ボタン⑤で受信周波数(82.5MHz)にあわせます。



- ⑤ 以上の操作で選局ボタンの2にNHK-FM(東京)が記憶できます。

- ⑥ あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、手動選局つまみでセットしておくことができます。

- ③ 記憶ボタン⑩を押します。
同時に記憶ボタン表示灯⑭が点灯します。



ちよつと一言

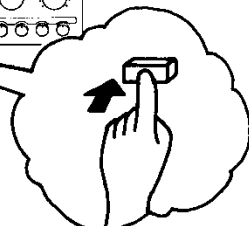
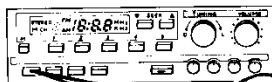
車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断られた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

ラジオ照明

- ① ライト・スイッチがONのときラジオ照明ボタン①を押すと、ラジオ照明が点灯します。



- ② もう一度押すと消灯します。

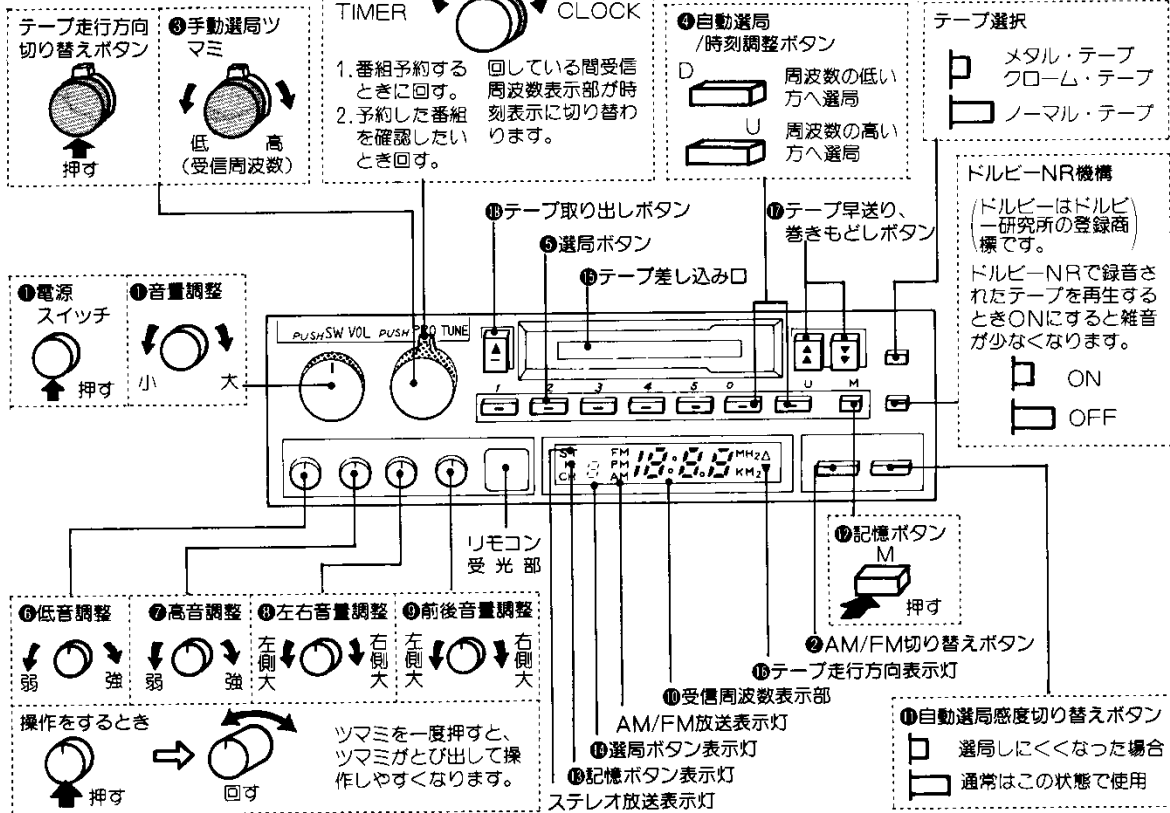


カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

☞ 注文装備です。

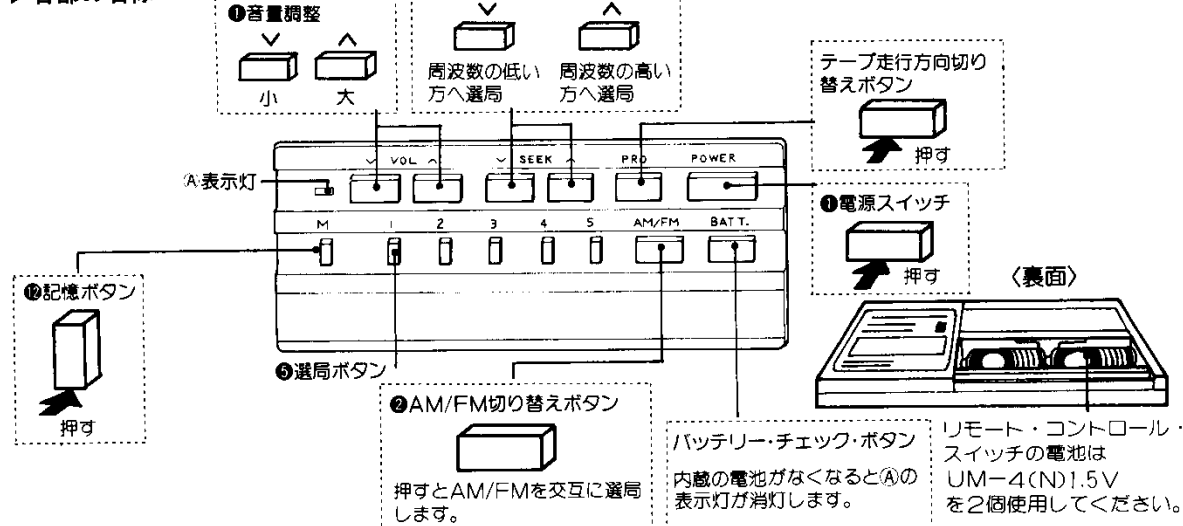
各部の名称



<ワイヤレス・リモート・コントロール・スイッチ>

カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオには専用のワイヤレス・リモート・コントロール・スイッチが装備されます。後席など離れた席からラジオ、ステレオの操作をすることができます。

各部の名称



ラジオ、ステレオの使い方

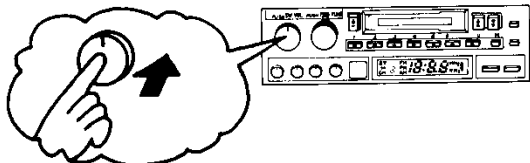
カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

ラジオ放送を聞くには

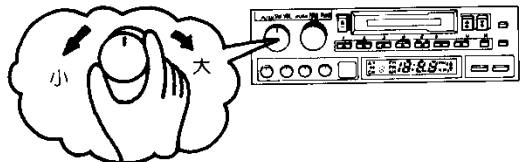
1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



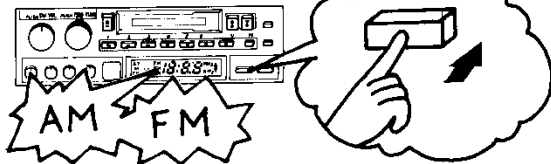
2 電源スイッチ①を押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。



3 音量調整ツマミ①を回して(リモコン・スイッチはボタンを押す) 音量を調整します。



4 AM/FM切り替えボタン②を押してAMまたはFM放送に切り替えます。



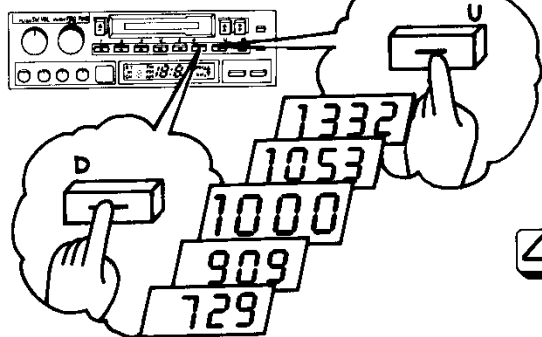
5 手動選局ツマミ③、自動選局ボタン④(次の「自動選局のしかた」を参照してください)、選局ボタン⑤(次ページの「選局ボタンのセット」を参照してください)の操作で希望の局を選びます。

6 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

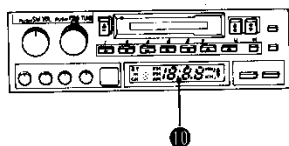


自動選局のしかた

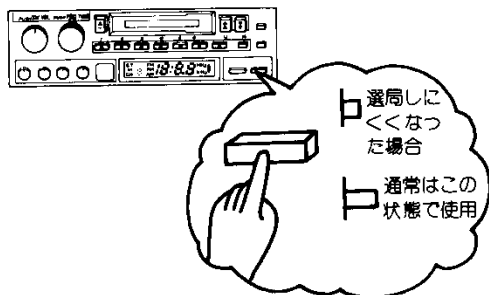
1 自動選局ボタン④のU側(リモコン・スイッチはへ側)を押すと周波数が高くなり、D側を押すと周波数が低くなり、受信するとその位置で止まります。



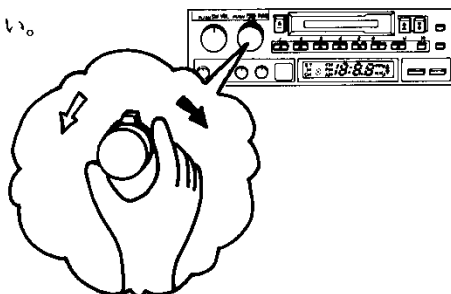
2 このとき受信周波数表示部⑩に、そのときどきの周波数が表示されます。



3 電波が弱い局を自動選局で受信する場合は、自動選局感度切り替えボタン①を押してください。



4 自動選局感度切り替えボタンを押しても選局しないときは、手動選局ツマミ⑥で選局してください。

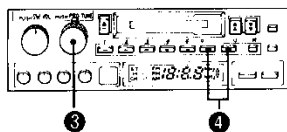


ラジオ、ステレオの使い方

カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

選局ボタンのセット

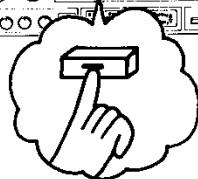
- ① 手動選局つまみ③または自動選局ボタン④で記憶させたい放送局の周波数にあわせます。



- ② 記憶ボタン②を押します。



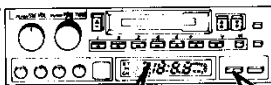
- ③ 選局ボタン⑤を押します。



以上の操作で選局ボタンに放送局を記憶させることができます。なお、選局ボタン1つに記憶させることができる放送局は、AM、FM、各1局ずつです。

たとえば、選局ボタン2に、NHK—FM(東京)82.5MHzを記憶させる場合

- ① AM/FM切り替えボタン②でFMにします。

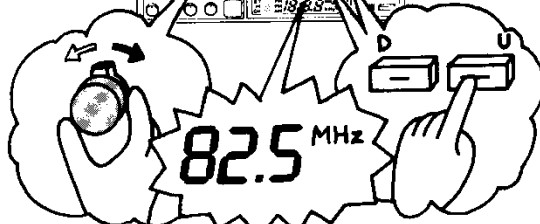


- ④ 選局ボタンの2を押します。

同時に選局ボタン表示灯①がチャンネルCh2を表示します。



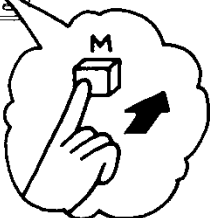
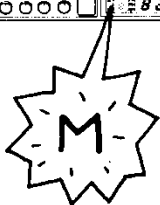
- ② 手動選局つまみまたは自動選局ボタンで受信周波数(82.5MHz)にあわせます。



- ⑤ 以上の操作で選局ボタンの2にNHK-FM(東京)が記憶できます。

- ⑥ あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、手動選局つまみでセットしておくことができます。

- ③ 記憶ボタンを押します。
同時に記憶ボタン表示灯①が点灯します。

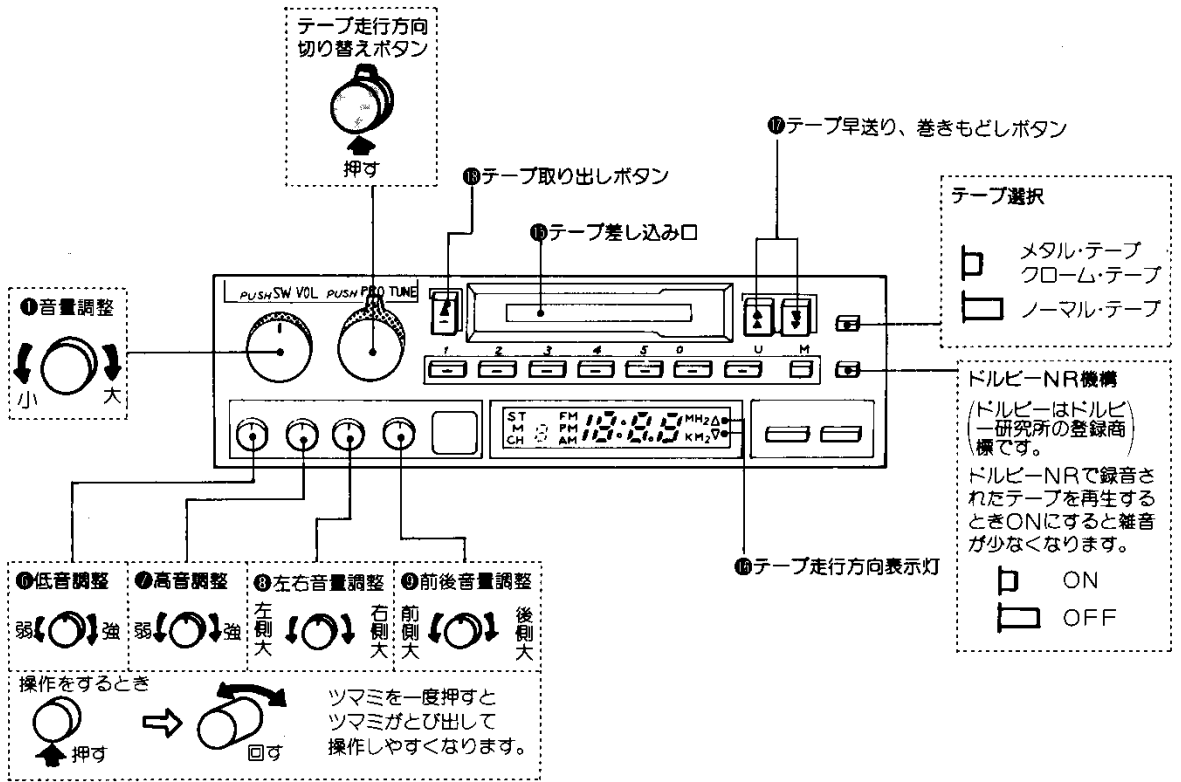


ちょっと一言

車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

▶カセット・テープを聞くための操作部名称



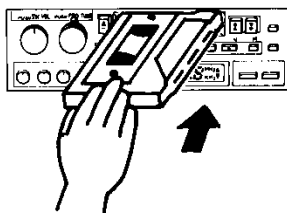
テープを聞くには

① エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

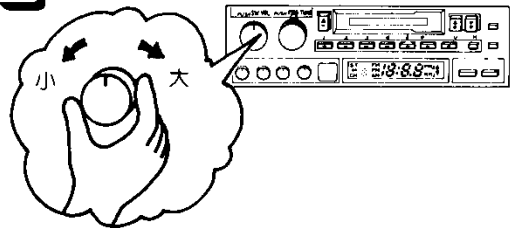


ラジオの電源スイッチがOFFでも使用することができます。

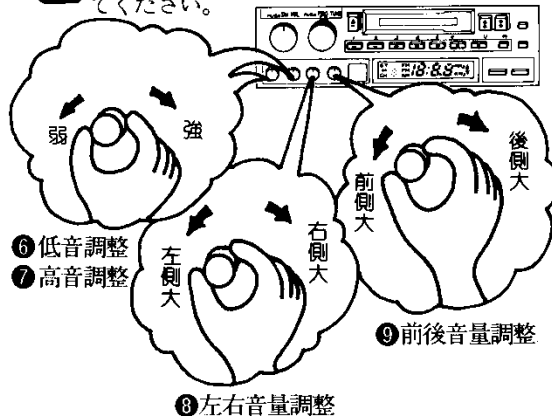
② テープ差し込み口③にテープを差し込みます。



③ 音量調整ツマミ①を回して音量を調整します。



④ 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。



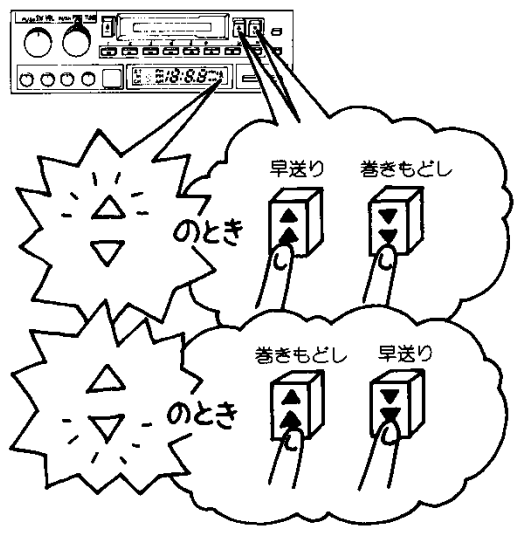
⑤低音調整
⑥高音調整
⑦左右音量調整
⑧前後音量調整

ラジオ、ステレオの使い方

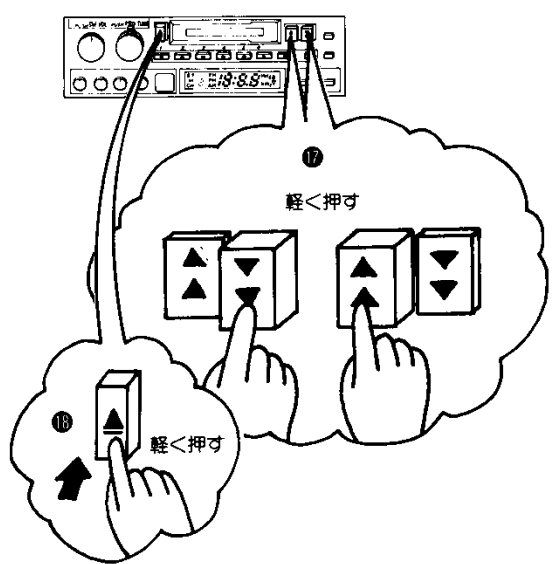
カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

早送り、巻きもどしをするには

1 テープ走行方向表示灯⑬と同じ向きのテープ早送り、巻きもどしボタン⑭を押すと早送り、逆方向のボタンを押すと巻きもどしになります。

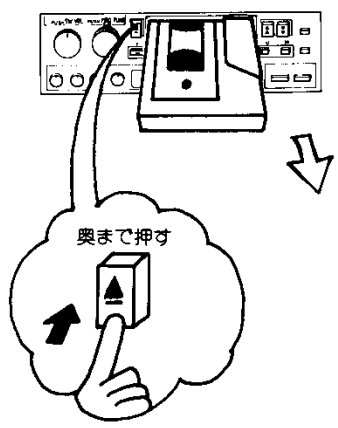


2 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、押し込まれていない側のボタンを軽く押すか、テープ取り出しボタン⑮を軽く押してください。

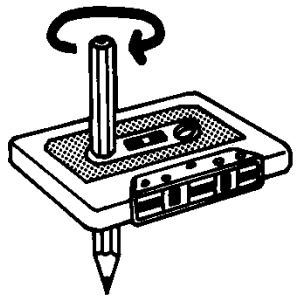


テープを取り出すには

1 テープ取り出しボタン⑯を奥まで押し込むとテープが手前に押し出されます。



1. テープはケースにいれ、直射日光やほこりをさけて保存してください。
2. テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



3. 1カ月に1回は、市販のヘッド・クリーナー等で、ヘッド・クリーニングを行ってください。

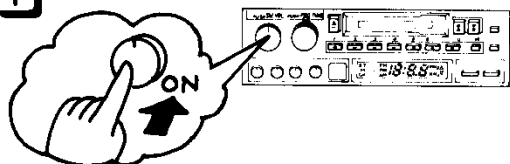
ラジオ、ステレオの使い方

カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

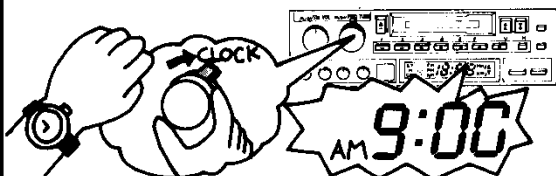
番組予約をするには

選局ボタンに記憶されている放送局に限りAM、FMを問わず2局まで、お聞きになりたい番組を予約することができます。

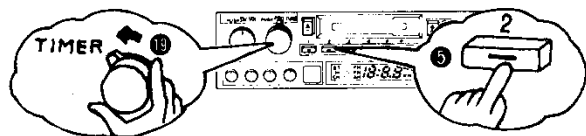
- ① 電源スイッチをONにします。



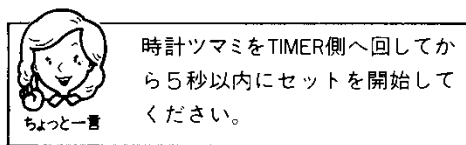
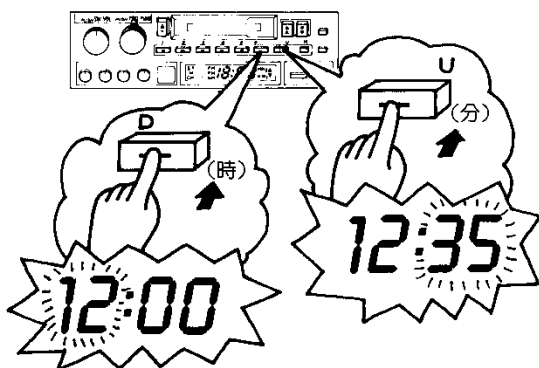
- ② 時計ツマミ⑯をCLOCK側へ回し、ラジオ内蔵の時計の時刻が正確な時刻かを確認します。(時刻が正確でないときは、次ページの「時計の時刻調整」を参照してください。)



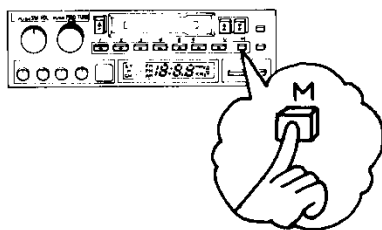
- ③ 時計ツマミをTIMER側へ回してから選局ボタン⑤で希望の放送局を選局します。(69ページの「選局ボタンのセット」を参照してください。)



- ④ そのまま時刻調整ボタン④のD側(“時”調整)およびU側(“分”調整)を押して希望の時間にセットします。



- ⑤ 記憶ボタン⑫を押せば番組予約が完了します。

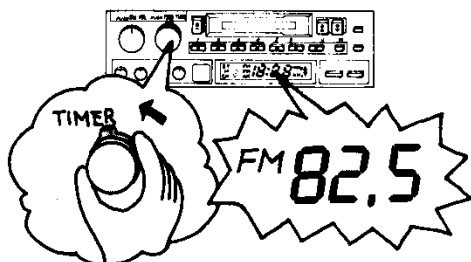


予約番組の放送時刻になると、下記のようになります。

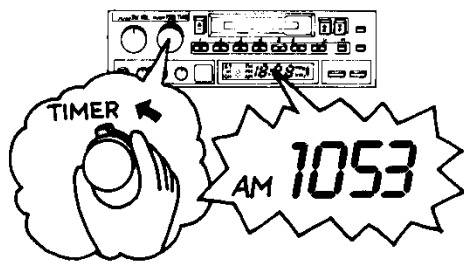
1. 他の放送を聞いているときは、自動的に予約番組に切り替わります。
2. テープ演奏中は約5秒間アラーム(ビビッという電子音)が鳴ります。
3. エンジン・スイッチがACCまたはONであれば、ラジオの電源スイッチがOFFでも電源は入り、放送が開始されます。
4. エンジン・スイッチがOFFでも、ACCまたはONにした時点で予約内容にかわります。

予約した番組の確認をするには

- ① 時計ツマミ⑯をTIMER側へ回すと約5秒間予約内容のどちらかが表示されます。



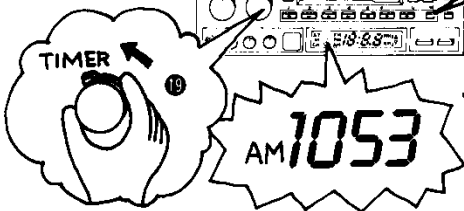
- ② 再度TIMER側へ回すと先に表示された予約内容に続き、もう一方の内容が表示されます。



カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)

予約番組の解除をするには

- 1 時計ツマミ⑩をTIMER側へ回して解除したい予約内容を表示させてから、5秒以内に記憶ボタン⑫を押します。



5秒以内に押す

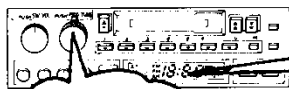


予約した番組は解除しない限り、エンジン・スイッチがACCまたはONであれば予約時刻になると放送が開始されます。

内蔵時計のセットのしかた

- 1 時計ツマミ⑩をCLOCK側へ回している間、受信周波数表示部⑩が時計表示に切り替わります。

- 2 時計は12時間表示となっており、AMは午前、PMは午後を表します。

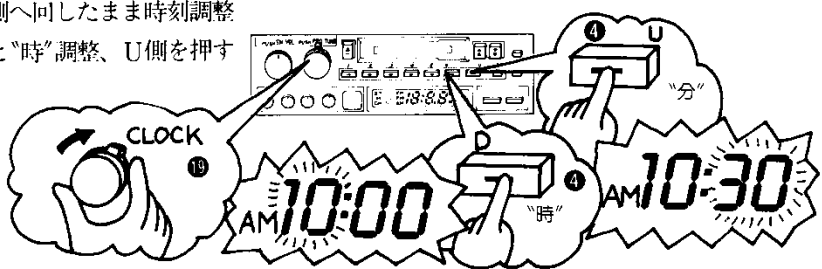


午前 → AM 10:00

午後 → PM 10:00

▶時計の時刻調整

- 1 時計ツマミをCLOCK側へ回したまま時刻調整ボタン④のD側を押すと“時”調整、U側を押すと“分”調整ができます。



▶時報にあわせるとき

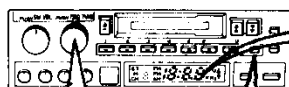
- 1 時計ツマミをCLOCK側へ回したまま記憶ボタン⑫を押します。

表示は0~29分の場合は切り下げ、30~59分の場合は切り上げとなります。

- 2 時計は記憶ボタンを離した時点から作動を始めます。

- 3 番組を予約するときに、正確な時刻にあわせてないと、予約した番組をお聞きになることができません。

午前(AM)、午後(PM)を間違えないよう時刻をあわせてください。



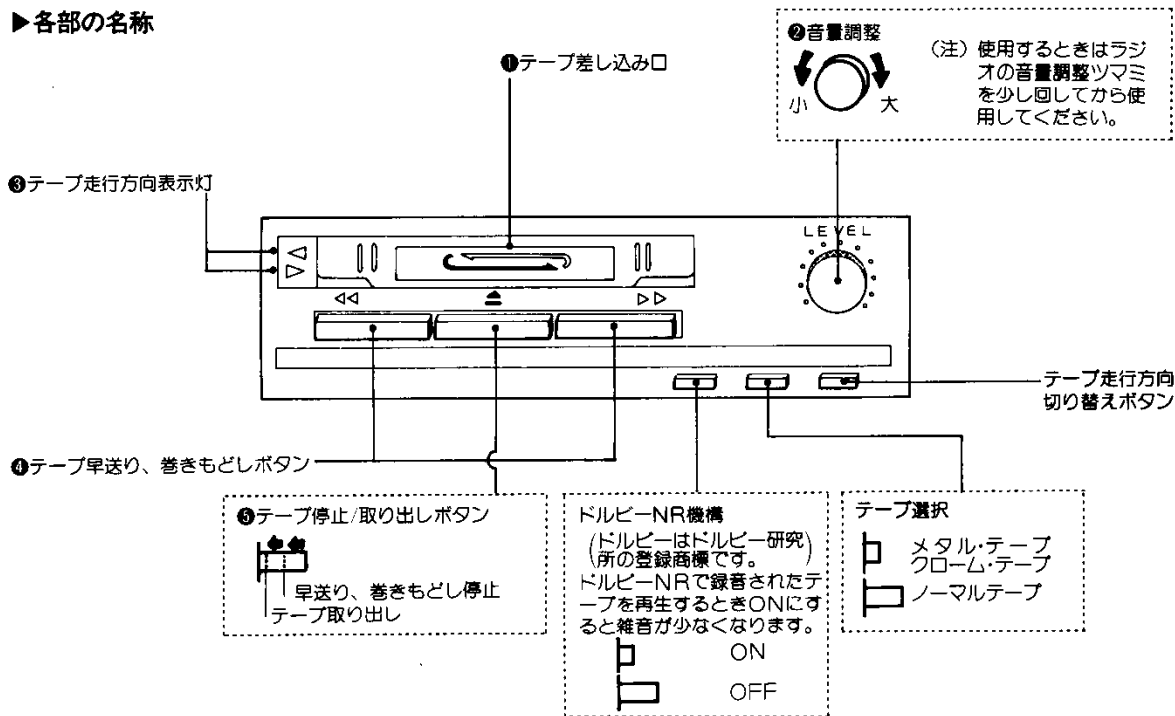
10:29
↓
10:00

10:30
↓
11:00

カセット・ステレオ(録音機構なし)

1G-EUに標準装備です。

▶各部の名称



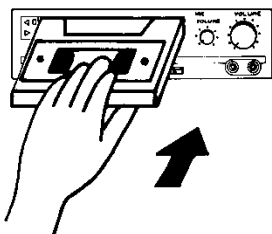
テープを聞くには

1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

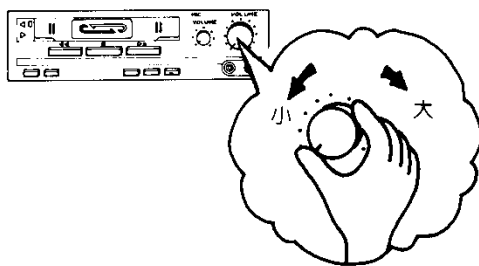


ラジオの電源スイッチがOFFでも使用することができます。

2 テープ差し込み口①にテープを差し込みます。



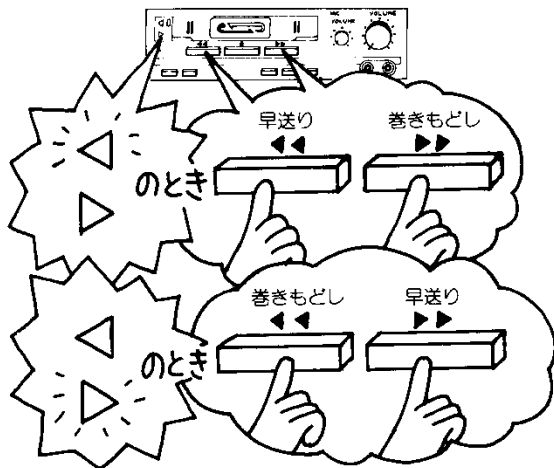
3 音量調整ツマミ②を回して音量を調整します。



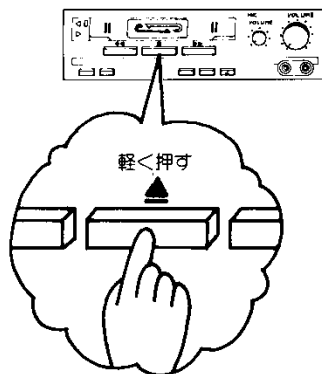
4 音質調整、前後、左右音量調整はラジオのツマミで行います。⇨62ページの「AM/FMマルチ・ラジオ」を参照してください。

早送り、巻きもどしをするには

- ① テープ走行方向表示灯③と同じ向きのテープ早送り、巻きもどしボタン④を押すと早送り、逆方向のボタンを押すと巻きもどしになります。

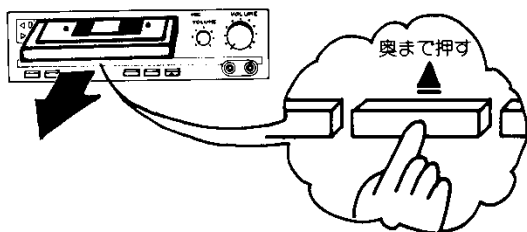


- ② 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、テープ停止/取り出しボタン⑤を軽く押してください。



テープを取り出すには

- ① テープ停止/取り出しボタン⑤を奥まで押し込むとテープが手前に押し出されます。



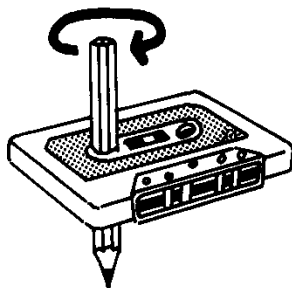
ちよっとー

テープを取り出す際、ラジオの電源スイッチがONの状態ではラジオ音量調整ツマミが大のままになりますと急に大きな音量となります。ラジオ音量調整ツマミを調整してください。



ちよっとー

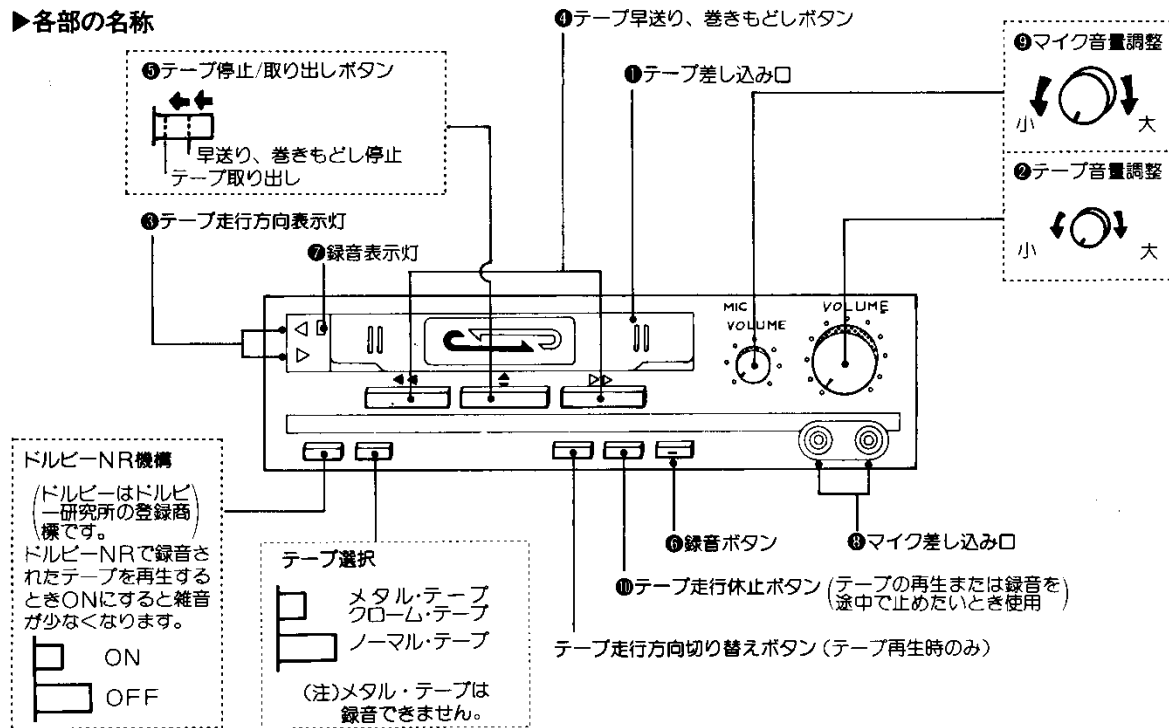
1. テープはケースにいれ、直射日光やほこりをさけて保存してください。
2. テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。
3. 1カ月に1回は、市販のヘッド・クリーナー等で、ヘッド・クリーニングを行ってください。



カセット・ステレオ(録音機構付き)

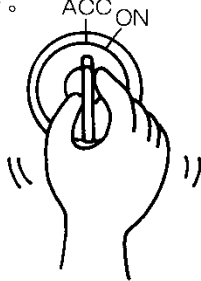
ツインカム24、ターボに標準装備、1G-EUに注文装備です。

各部の名称



テープを聞くには

① エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

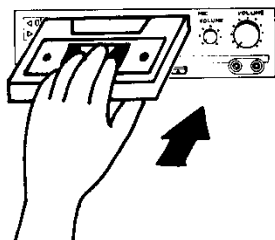


ラジオの電源スイッチがOFFでも使用することが出来ます。

③ テープ音量調整ツマミ②を回して音量を調整します。



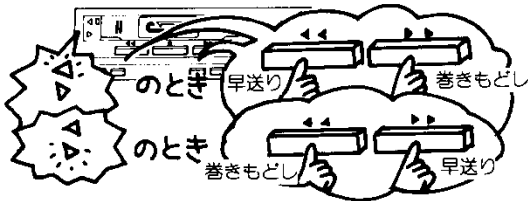
② テープ差し込み口①にテープを差し込みます。



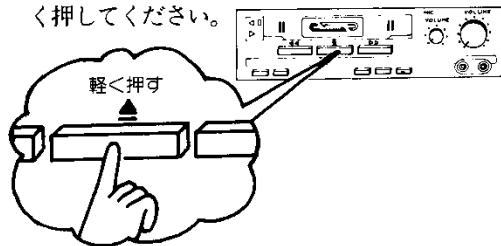
④ 音質調整、前後、左右音量調整はラジオのツマミで行います。⇨62ページの「AM/FMマルチ・ラジオ」を参照してください。

早送り、巻きもどしをするには

- ① テープ走行方向表示灯③と同じ向きのテープ早送り、巻きもどしボタン④を押すと早送り、逆方向のボタンを押すと巻きもどしになります。

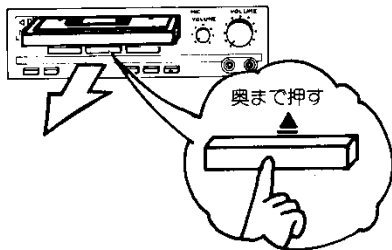


- ② 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生にするときは、テープ停止/取り出しボタン⑤を軽く押してください。



テープを取り出すには

- ① テープ停止/取り出しボタン⑤を奥まで押し込むとテープが手前に押し出されます。

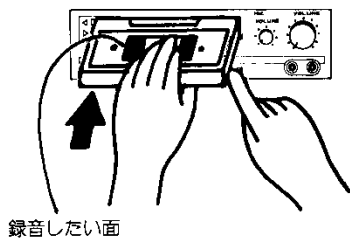


ちよつと一言

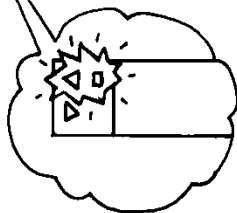
テープを取り出す際、ラジオの電源スイッチがONの状態ではラジオ音量調整ツマミが大のままになっていますと急に大きな音量となります。ラジオ音量調整ツマミを調整してください。

ラジオ放送を録音するとき

- ① 録音ボタン⑥を押したまま、録音したい面を上側にしてテープを差し込みます。

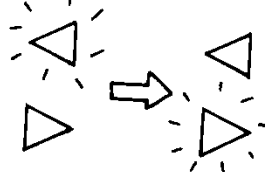


- ② 録音表示灯⑦、テープ走行方向表示灯③が点灯し、録音が始まります。



- ③ 録音は、ラジオの各音量調整ツマミに関係なく、自動的に一定レベルで調整されます。

- ④ 録音中にテープ片面が終了するとテープは停止し、テープ走行方向表示灯の反対方向が点灯します。録音を続けたいときは、テープ停止/取り出しボタン⑤を押し込んでテープを取り出し、反対にして①の操作を繰り返してください。

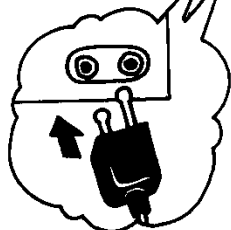


- ⑤ 録音を途中で解除したい場合は、テープ停止/取り出しボタン⑤を押し込んでテープを取り出してください。

カセット・ステレオ(録音機構付き)

マイク音声を録音するとき

- 1** マイクをマイク差し込み口⑧に差し込みます。リモコン付きマイクはマイク・ジャックを左右間違えないよう(径の太い方を右側)に差し込みます。マイクには録音を一時停止することができるスイッチがついています。



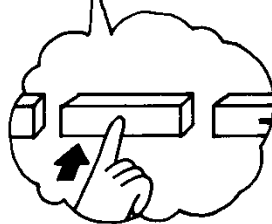
- 2** 録音ボタンを押したまま、録音したい面を上側にしてテープを差し込みます。録音中のテープの取り扱いにはラジオ録音の場合と同じです。



- 3** 録音は、マイク音量調整ツマミ⑨およびテープ音量調整ツマミ⑫に関係なく、自動的に一定レベルで調整されます。なお、録音中のマイク音声を確認するときは、マイク音量調整ツマミで行ってください。



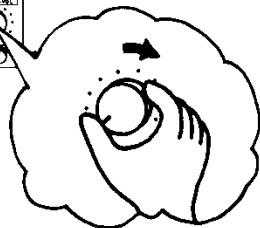
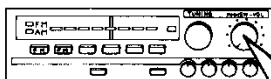
- 4** テープ再生時および録音中にテープを一時停止したいときは、テープ走行休止ボタン⑪を押してください。



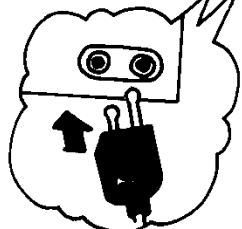
マイク・ミキシング(カラオケ)

テープ再生時に、マイクを差し込めばテープの再生音にマイク音声を重ねることができます。

- 1** ラジオの音量調整ツマミを少しだけ回し、テープを再生します。(76ページの「テープを聞くには」を参照してください。)

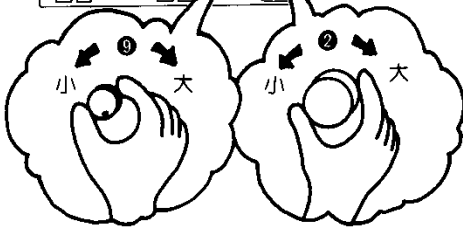


- 2** マイクをマイク差し込み口⑧に差し込みます。

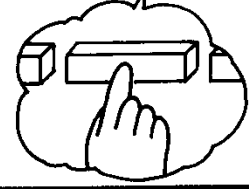


カセット・ステレオ(録音機構付き)

- 3** テープ音量調整つまみ②でテープ音量、マイク音量調整つまみ①でマイク音量を調整します。



- 4** テープ再生時に、マイク音声だけを聞きたい場合はマイクについているスイッチをOFFにするか、カセット・ステレオのテープ走行休止ボタン⑩を押します。



ちょっと一

1. マイク・ミキシング中にスピーカーからピー音(ハウリング)が聞こえる場合は、マイクまたはテープの音量をしばってください。
2. 録音は、常に差し込まれたテープの上側のプログラムに録音されます。
3. メタル・テープは再生できますが、録音できません。
4. テープはケースにいれ、直射日光やほこりをさけて保存してください。
5. テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。
6. マイクは別売です。
7. 1カ月に1回は、市販のヘッド・クリーナー等で、ヘッド・クリーニングを行ってください。

